

エコアクション21 環境経営レポート



株式会社アルクス

代表取締役 長坂 亮

対象期間: 47期 2023年6月1日～2024年5月31日

発行日: 2024年7月26日
改定日: 2024年7月26日

■計画の策定（Plan）

（1）組織の概要

事業者名	株式会社アルクス		
代表者名	代表取締役 長坂 亮		
所在地	〒444－0943 愛知県岡崎市矢作町字猫田10－1		
電話番号	0564－32－4101		
FAX番号	0564－32－1617		
メールアドレス	info@e-arcs.co.jp		
事業の概要	産業廃液の収集運搬及び高圧洗浄 排水管洗浄業務など特殊車両を使用した業務 建築物清掃業(床・ガラス・エアコン・厨房等)		
事業規模	創業	1977年6月17日	
	会社設立	1994年4月1日	
	資本金	2,000万円	
	従業員数	総従業員は222名(2024年5月現在)	

社員数	47期	在籍人数	係数	換算値	内在籍(本社)	内在籍(安城)
フルタイム		54	1.00	54	36	18
30h-39h/週		10	0.67	7	10	0
20h-29h/週		46	0.50	23	45	1
20h未満/週		112	0.25	28	111	1
		222		112	202	20

↑総従業員数 ↑フルタイム換算数

売上高 約14億2千万円 ※2024年5月決算

処理量	収集運搬量合計		18404t	
	汚泥	8531t	廃油	7214t
	廃アルカリ	1601t	木くず	65t
	廃酸	841t	廃プラスチック	139t
	動植物性残さ	0t	その他	13t

※事業年度内に発行されたマニフェスト実績より算出

（2）対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

登録組織名	株式会社アルクス
対象範囲	全組織・全活動
対象事業所	本社、安城センター
対象活動	産業廃棄物収集運搬業、建物清掃
対象期間	2023年6月1日から2024年5月31日
発行日	2024年7月26日

環境経営方針

<環境理念>

私たちは、地球環境の保全が人類共通の重要課題であることを認識し、全ての企業活動において地球環境への負荷を回避低減し、地球に優しいサービスを提供します。
そして、美しい地球を次代の子供たちに継承します。

<行動指針>

1. 次の事項について重要項目として取り組みます。
 - ①省エネによるCO2排出量の低減に努めます。
 - ②水の使用量の低減に努めます。
 - ③廃棄物の低減に努めます。
 - ④廃棄物のリサイクル率の向上に努めます。
 - ⑤PRTR法に指定される化学物質の使用量低減に努めます。
 - ⑥グリーン購入の推進
2. 企業活動に関連する環境関連法規を遵守します。
3. 社員全員で環境保全を考え、積極的に活動に取り組みます。
4. この環境経営方針を社員全員に伝達し、理解を深めます。
5. この環境経営方針を社会環境に合わせて定期的に見直します。
6. 環境への取り組みを環境経営レポートとして公表します。

制定日：2012年6月1日

株式会社アルクス 代表取締役 長坂 亮

—この環境経営方針は社内外へ公表します—

(4)環境経営目標

環境経営中長期目標

全 体(本社+安城センター)

	管理目標	目標 44期(2020)	目標 45期(2021)	目標 46期(2022)	目標 47期(2023)	目標 48期(2024)
		6月～5月	6月～5月	6月～5月	6月～5月	6月～5月
①二酸化炭素排出量削減	CO2排出量 (Kg-CO2)	—	101%	110%	85%	111%
		657,490	666,000	733,000	626,000	695,000
②節水 水道水	水使用量 (t)	—	93%	100%	100%	257%
		1,380	1,290	1,290	1,290	3,309
③廃棄物排出量削減	排出量 (t)	—	91%	108%	93%	108%
		138	125	135	125	135
④リサイクル率向上	リサイクル率の向上においては、数値目標が困難であり、環境活動計画を策定推進する。					

※1)CO2排出量、水使用量、産業廃棄物排出量の増加理由に関しては
産業廃棄物収集運搬事業の売上増加に伴ない車両増加(主に軽油)と
排水管高圧清掃などで水使用量、廃棄物排出量(現場作業時の資機材廃棄物など)

が増加する見込み。主に安城センターで発生する。

※2)電力実排出係数0377kg-CO2/kWh (令和4年度中部電力ミライズ㈱)

目標値設定方法

二酸化炭素 今期排出量実績×翌期売上目標/今期売上実績

	全体※	本社	安城センター
CO2実績(当期)	660,012	93,426	566,586
売上実績(今期)	1,036,416	513,466	522,950
売上目標(翌期)	1,089,790	539,790	550,000
CO2目標(翌期)	695,000	99,000	596,000
比率(目標/実績)	105%	106%	105%

※「全体」は「本社」「安城センター」の合計の為、「全体」単体で計算したものではない

水道 昨年実績維持(100%) 在籍人数比例で変更

廃棄物 昨年実績維持(100%) 在籍人数比例で変更

本社

	管理目標	目標 44期(2020)	目標 45期(2021)	目標 46期(2022)	目標 47期(2023)	目標 48期(2024)
		6月～5月	6月～5月	6月～5月	6月～5月	6月～5月
①二酸化炭素排出量削減	CO2排出量 (Kg-CO2)	—	92.5%	109.5%	144.6%	74.4%
		90,820	84,000	92,000	133,000	99,000
②節水 水道水	水使用量 (t)	—	90%	100%	100%	100%
		899	809	809	809	809
③廃棄物排出量削減	排出量 (t)	—	90%	109%	92%	109%
		130	117	127	117	127
④リサイクル率向上	リサイクル率の向上においては、数値目標が困難であり、環境活動計画を策定推進する。					

※②井戸水は計量不可能なため、使用量に含まず

安城センター

[illegible]

(5)環境経営計画

活動期間：2023年6月1日～2024年5月31日

2023 年度 環境経営計画書(本社)

方針	目標達成手段 (取組の自己チェックで挙げた内容を記載する)	昨年度の実績及び今年度の目標	責任部門 責任者	スケジュール												
				6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
① 二酸化炭素排出量削減	エコサム活用(運転指導) 車両のアイドリングストップ 作業ルート(自動車移動)の時間短縮 ～継続手段～ 空調の設定温度を28℃に設定(夏季) 昼休み時間の事務所内消灯の徹底 (kg-co2)	2022年度実績	SC課 課長 中川	→スタート						○						○
		90,648		→スタート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				→スタート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				→スタート												
			2023年度目標	売上高の目標に比例して排出量(主に自動車)も増加見込												
前年度比	147%															
133,000																
② 節水	井戸水の活用基準決め 節水運動(出しっぱなし禁止主に洗濯機) 雨水の活用 (m³)	2022年度実績	SC課 課長 中川	実施												
525		→スタート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		→スタート													○	
		→スタート														
		→スタート														
2023年度目標																
前年度比	154%															
809																
③ 廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減目標説明 分別回収(最小限の処分、リサイクル) データ管理(紙印刷の削減) 専門業者処分(パソコン等) (t)	2022年度実績	SC課 課長 中川	実施												
127		→スタート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		→スタート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		→スタート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		→スタート														
2023年度目標	分別の徹底により廃棄物(ゴミ)を減らし、リサイクル可能なものを調べてもっと分別に取り組む															
前年度比	100%															
127																
④ リサイクル率向上	業務改善 アルカリイオン電解水活用(中性洗剤廃止) 社員教育訓練(技術向上) ⇒作業時間の短縮 全員での業務改善提案 (作業・事務・環境何でも気づいた事を 全員で提案する)		SC課 課長 中川	実施												
		→スタート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		→スタート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		アルカリイオン電解水の中性洗剤の代わりに継続的に使用 業務改善を作業現場からも提案しより安全に環境に配慮(時間短縮・ムダ削減)などを全社的に取り組む														

(5)環境経営計画

活動期間：2023年6月1日～2024年5月31日

2023 年度 環境経営計画書(安城センター)

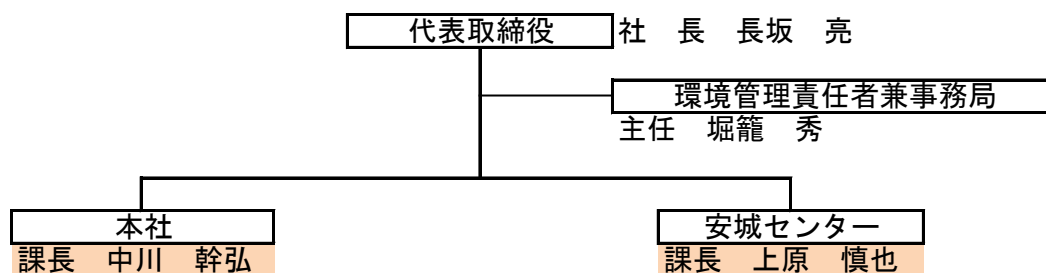
[illegible]

■計画の実施（Do）

（6）環境経営計画に基づき実施した取組内容（実施体制を含む）

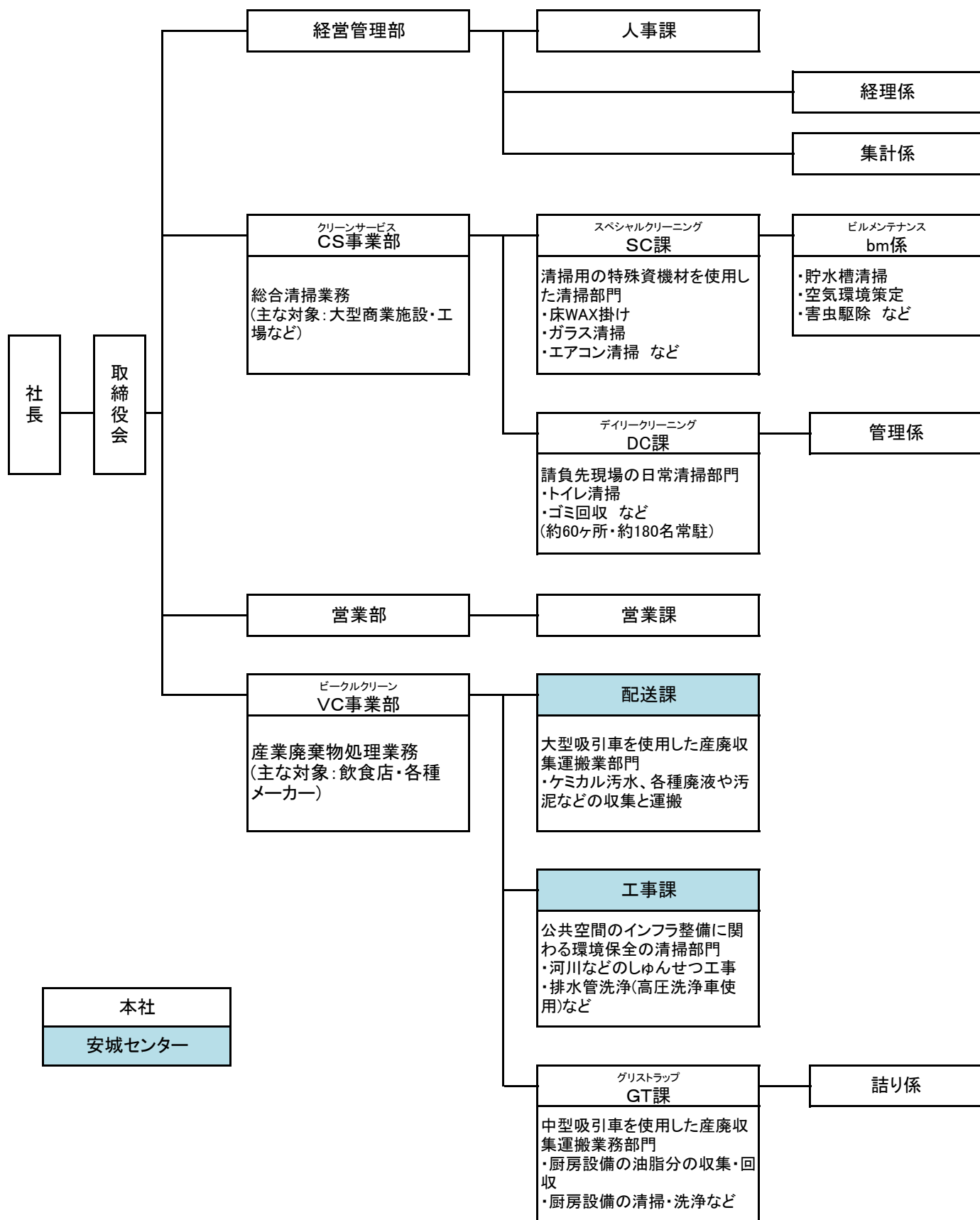
統括責任者	代表取締役社長 長坂 亮
環境管理責任者	堀籠 秀
事務局	堀籠 秀
	TEL 0564-32-4101
	FAX 0564-32-1617
組織図	別紙1参照
許可の取得状況	別紙2・3参照
施設などの状況	安城センター(2021.5月 安城営業所から名称変更)
	運搬車両の種類と台数 別紙4参照
	産業廃棄物積替保管施設の面積 別紙4参照

エコアクション21 実施体制図



	役割・責任・権限
代表取締役	* 環境方針を定める * 環境管理責任者の任命 * 環境システムの総責任者 * システム全体の計画立案 * 評価と活動の見直し * 環境活動を推進するための資源(人、モノ、金)の準備
環境管理責任者	* 環境関連外部の窓口 * 計画の実行と報告 * 環境マネジメントシステム全体の構築・運用・維持 * 活動状況を把握し、定期的に代表者に報告
事務局	* システム運用上の事務管理 * 文書の作成
部門責任者	※本社、安城センター * 部門の計画の実施責任者 * 実施状況の確認・記録

別紙1 組織図



No.	許可区域	許可番号	許可年月日等			
1	愛 知 県	第02310045248号	新規	1997	年	1 月 28 日
			期限	2031	年	1 月 28 日
2	岐 阜 県	第02100045248号	新規	2002	年	12 月 6 日
			期限	2026	年	12 月 5 日
3	三 重 県	第02400045248号	新規	2002	年	11 月 13 日
			期限	2026	年	11 月 12 日
4	静 岡 県	第02202045248号	新規	2009	年	9 月 16 日
			期限	2028	年	9 月 15 日
5	富 山 県	第01603045248号	新規	2009	年	8 月 13 日
			期限	2028	年	8 月 12 日
6	石 川 県	第01709045248号	新規	2009	年	8 月 24 日
			期限	2026	年	8 月 23 日
7	山 梨 県	第01900045248号	新規	2015	年	6 月 22 日
			期限	2027	年	6 月 21 日
8	福 井 県	第 1802045248号	新規	2009	年	7 月 27 日
			期限	2028	年	7 月 26 日
9	長 野 県	第 2009045248号	新規	2008	年	12 月 5 日
			期限	2028	年	12 月 4 日
10	滋 賀 県	第02501045248号	新規	2009	年	9 月 8 日
			期限	2028	年	9 月 7 日
11	大 阪 府	第02700045248号	新規	2008	年	12 月 12 日
			期限	2027	年	12 月 11 日
12	埼 玉 県	第01100045248号	新規	2015	年	11 月 15 日
			期限	2029	年	11 月 14 日
13	新 潟 県	第01509045248号	新規	2015	年	11 月 4 日
			期限	2029	年	11 月 3 日
14	京 都 府	第02601045248号	新規	2014	年	9 月 5 日
			期限	2026	年	9 月 4 日
15	奈 良 県	第02900045248号	新規	2019	年	12 月 10 日
			期限	2024	年	12 月 9 日
16	兵 庫 県	第02803045248号	新規	2020	年	1 月 23 日
			期限	2025	年	1 月 22 日
17	岡 山 県	第03300045248号	新規	2020	年	4 月 13 日
			期限	2025	年	4 月 12 日

産業廃棄物収集運搬業許可証

別紙2-2

No.	許可区域	許可番号	許可年月日等			
18	福岡県	第04000045248号	新規	2020	年	8月12日
			期限	2025	年	8月11日
19						

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証

No.	許可区域	許可番号	許可年月日等			
1	愛知県	第02350045248号	新規	2016	年	5月23日
			期限	2030	年	5月22日
2	静岡県	第02251045248号	新規	2015	年	3月16日
			期限	2027	年	5月15日

産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業 許 可 一 覧 表

許可区域		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	動植物性残さ	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類
1	愛知県 第02310045248号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	岐阜県 第02100045248号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	三重県 第02400045248号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	静岡県 第02202045248号		○	○	○	○								
5	富山県 第01603045248号		○	○		○								
6	石川県 第01709045248号		○	○		○								
7	山梨県 第01900045248号		○	○	○	○								
8	福井県 第1802045248号		○	○		○								
9	長野県 第2009045248号		○	○		○								
10	滋賀県 第02501045248号		○	○		○								
11	大阪府 第02700045248号		○	○	○	○								
12	埼玉県 第01100045248号		○											
13	新潟県 第01509045248号		○											
14	京都府 第02601045248号		○	○		○								
15	奈良県 第02803045248号		○	○	○	○								

産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業 許 可 一 覧 表

許可区域		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	動植物性残さ	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類
16	兵庫県 第02803045248号		○	○	○	○								
17	岡山県 第03300045248号		○	○	○	○								
18	福岡県 第04000045248号		○	○	○	○								
19														

特別管理産業廃棄物収集運搬業

愛知県	第02350045248号	腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、特定有害廃油、特定有害汚泥、特定有害廃酸、特定有害廃アルカリ
静岡県	第02251045248号	腐食性廃アルカリ、特定有害廃アルカリ

(1) 運搬車両一覧

別紙4-1

No.	車両の名称	形式・寸法	自動車登録番号	最大積載量(kg)
1	P 1 号	清掃車	岡崎 8 0 0	9,370
		931/249/337	は 1 6 3	
2	P 2 号	清掃車	三河 8 0 0	9,670
		938/249/330	は 7 0 7	
3	P 3 号	清掃車	岡崎 8 0 0	9,150
		961/249/328	は 3 6	
4	P 4 号	清掃車	岡崎 8 0 0	7,650
		812/249/312	は 5 4	
5	P 5 号	清掃車	岡崎 8 0 0	7,500
		972/249/338	は 1 1 2	
6	P 6 号	清掃車	岡崎 8 0 0	11,570
		1101/249/323	は 1 1 9	
7	P 7 号	清掃車	岡崎 8 0 0	9,200
		930/249/334	は 2 0 3	
8	P 8 号	清掃車	岡崎 8 0 0	10,050
		903/249/325	は 2 0 8	
9	B 4 号	清掃車	岡崎 8 0 0	3,350
		578/207/231	さ 1 4 9 4	
10	S 1 号	清掃車	岡崎 8 0 0	10,100
		931/249/326	は 1 3 3	
11	S 2 号	清掃車	岡崎 8 0 0	10,020
		914/249/316	は 2 1 6	
12	S 3 号	清掃車	岡崎 8 0 0	10,020
		913/249/316	は 2 1 7	
13	M号	清掃車	岡崎 8 0 0	2,420
		643/219/266	さ 2 8 6 4	
14	M 2 号	清掃車	岡崎 8 0 0	3,280
		571/206/249	さ 2 0 8 9	
15	R 号	タンク車	三河 8 0 0	3,200
		601/220/244	す 8 5 2 1	
16	三菱深ダンプ	ダンプ	岡崎 1 0 0	3,350
		546/220/257	さ 3 0 6 1	
17	T 1 号	バン	岡崎 4 0 0	2,000
		469/169/198	さ 7 9 1 2	
18	トヨエースアルミバン	バン	岡崎 1 0 0	2,000
		483/194/284	さ 3 4 3 6	
19	ハイエース	バン	岡崎 4 0 0	1,200
		469/169/198	す 4 9 1 4	
20	パッカー車	集塵車	三河 8 0 0	2,550
		561/189/264	せ 7 0	
21	平ボディ	キャブオーバー	岡崎 1 0 0	3,000
		628/220/224	さ 4 9 7 4	
22	P 9 号	清掃車	岡崎 8 0 0	9,370
		921/249/320	は 2 6 6	
23	ハイエース	バン	岡崎 4 0 0	1,250
		469/169/198	す 9 6 7 6	

(2) その他運搬施設の概要

別紙4-2

運搬容器等の名称	用途	容量	備考
ドラム缶	汚泥運搬	200ℓ 10本	キャブオーバー過積載注意
ドラム缶	廃アルカリ	200ℓ 10本	キャブオーバー過積載注意
ドラム缶	燃え殻	200ℓ 10本	キャブオーバー過積載注意
ペール缶	汚泥運搬	20ℓ 10本	バン過積載注意
ペール缶	廃アルカリ	20ℓ 10本	バン過積載注意

(3) 対象事業所

A) 事務所			
・本社	所在	岡崎市矢作町字猫田10番地1 (CS事業部・営業部・経営管理部)	
・安城センター		安城市高棚町茨池9番5 (VC事業部・配送課・工事課)	
B) 産業廃棄物積替保管施設			
・安城センター	所在	安城市高棚町茨池9番地6	
(2021年12月)	全体面積	屋外	400.58㎡
	保管面積	屋外	14.82㎡
	保管上限		36.40㎡

■取組状況の確認及び評価（Check）

(7)-1 環境経営計画の取組結果

環境活動結果

全 体（本社＋安城センター）

	管理目標	目標 47期(2023)	結果 47期(2023)
		6月～5月	6月～5月
①二酸化炭素排出量削減	CO2排出量 (Kg-CO2)	— 626,000	未達成 660,012
②節水(水道水)	水使用量 (㎡)	— 2,509	未達成 2,586
③廃棄物排出量削減	排出量 (t)	— 135	達成 135
④リサイクル率向上	リサイクル率の向上においては、数値目標が困難であり、環境活動計画を策定推進する。		

※ 電力実排出係数0.377kg-CO2/kWh（令和4年度中部電力ミライズ㈱）

本 社

	管理目標	目標 47期(2023)	結果 47期(2023)
		6月～5月	6月～5月
①二酸化炭素排出量削減	CO2排出量 (Kg-CO2)	— 133,000	達成 93,426
②節水(水道水)	水使用量 (㎡)	— 809	達成 499
③廃棄物排出量削減	排出量 (t)	— 127	達成 127
④リサイクル率向上	リサイクル率の向上においては、数値目標が困難であり、環境活動計画を策定推進する。		

安城センター

	管理目標	目標 47期(2023)	結果 47期(2023)
		6月～5月	6月～5月
①二酸化炭素排出量削減	CO2排出量 (Kg-CO2)	— 493,000	未達成 566,586
②節水(水道水)	水使用量 (㎡)	— 1,700	未達成 2,087
③廃棄物排出量削減	排出量 (t)	— 8	達成 8
④リサイクル率向上	リサイクル率の向上においては、数値目標が困難であり、環境活動計画を策定推進する。		

(7)-2環境活動計画の取組結果とその評価

活動期間：2023年6月1日～2024年5月31日

作成日：2024年7月26日

●…実施済 ○…未実施

2023 年度 環境活動結果(本社)

方針	目標達成手段 (取組の自己チェックで挙げた内容を記載する)	結果及び評価	責任部門	スケジュール												
	責任者		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		
① 二酸化炭素排出量削減	エコサム活用(運転指導) 車両のアイドリングストップ 作業ルート(自動車移動)の時間短縮	2023年度目標 133,000	SC課 課長 中川	→スタート												
	2023年度結果 93,426 70%	→スタート						●							●	
	(目標/結果)	→スタート													●	
	～継続手段～ 空調の設定温度を28℃に設定(夏季) 昼休み時間の事務所内消灯の徹底	活動結果の評価 達成		評価 (実施責任者) 前期比 電力 98% 灯油 71.3% ガス 94.7% ガソリン 106.3% 軽油 117.8% 今期排出量 20,155 224 1,729 67,052 1,564 Kg-Co2 電力に関しては年々微量だが減少している(500kwh/年)ガソリンは売上増加と共に多くなってしまう。												
② 節水	井戸水の活用基準決め 節水運動(出しっぱなし禁止主に洗濯機 雨水の活用	2023年度目標 809	SC課 課長 中川	実施	●											
	2023年度結果 499 62%	→スタート														
	(目標/結果)	→スタート														
	活動結果の評価 達成	評価 (実施責任者) 変化なし														
③ 廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減目標説明 分別回収(最小限の処分、リサイクル) データ管理(紙印刷の削減) 専門業者処分(パソコン等)	2023年度目標 127	SC課 課長 中川	実施												
	2023年度結果 127 100%	→スタート		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	(目標/結果)	→スタート														
	活動結果の評価 達成	評価 (実施責任者) 分別をしながら再利用を積極的に行った為。														
④ リサイクル率向上	業務改善 アルカリイオン電解水活用(中性洗剤廃止) 社員教育訓練(技術向上) ⇒作業時間の短縮 全員での業務改善提案 (作業・事務・環境何でも気づいた事を 全員で提案する)		SC課 課長 中川	実施												
		→スタート		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
		→スタート														
		評価 (実施責任者) 再生トナーは継続的に利用中。 印刷を最小限にし、社内ではPDFで共有し無駄な印刷を減らしている。														

(7)-2環境活動計画の取組結果とその評価

活動期間：2023年6月1日～2024年5月31日

作成日：2024年7月26日

●...実施済 ○...未実施

2023 年度 環境活動結果(安城センター)

方針	目標達成手段 (取組の自己チェックで挙げた内容を記載する)	結果及び評価	責任部門	スケジュール												
			責任者	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
① 二酸化炭素排出量削減	エコサム活用(運転指導) 車両のアイドリングストップ 作業ルート(自動車移動)の時間短縮 ～継続手段～ 空調の設定温度を28℃に設定(夏季) 昼休み時間の事務所内消灯の徹底	2023年度目標 493,000	配送課 課長 上原	→スタート												
		2023年度結果 566,586 115% (目標/結果)		→スタート					●						●	
				→スタート	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
				→スタート	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		活動結果の評価 未達成	評価 (実施責任者) 前期比 電力 104.4% 灯油 453.1% ガス 85.4% ガソリン 92.0% 軽油 102% 今期排出量 10,763 145 1,978 14,137 544,453 Kg-Co2 電力・軽油は売上増加に伴い増加													
		(kg-CO2)														
② 節水	井戸水の活用基準決め 節水運動(出しっぱなし禁止) 雨水の活用	2023年度目標 1,700	配送課 課長 上原	実施												
		2023年度結果 2,087 123% (目標/結果)		→スタート	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
				→スタート												
				→スタート												
		活動結果の評価 未達成	評価 (実施責任者) 前期比 2022年実績1,700m³ 101.4% 雨水をタンクに為再利用したり井戸水を使って上水利用を節約できた。 今まで洗車は雨水などを利用していたが上水しかない為使用量が大幅に増えた※2021年より													
		(m)														
③ 廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減目標説明 分別回収(最小限の処分、リサイクル) データ管理(紙印刷の削減) 専門業者処分(パソコン等)	2023年度目標 8	配送課 課長 上原	実施												
		2023年度結果 8 100% (目標/結果)		→スタート	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
				→スタート	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
				→スタート												
		活動結果の評価 達成	評価 (実施責任者) 分別や再利用を積極的に行い削減できた。													
		(t)														
④ リサイクル率向上	業務改善 車両メンテナンス実施⇒排ガス軽減 社員教育訓練(技術向上) ⇒作業時間の短縮 全員での業務改善提案 (作業・事務・環境何でも気づいた事を 全員で提案する) 積替え保管施設の改善 (安全対策・漏洩対策を実施)		配送課 課長 上原	実施												
					→スタート	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
					→スタート											
			評価 (実施責任者) 再生トナーは継続的に利用中。 印刷を最小限にし、社内ではPDFで共有し無駄な印刷を減らしている。													

(7)-3環境経営目標及び環境経営計画

活動期間：2023年6月1日～2024年5月31日

2024 年度 環境活動計画書(本社)

作成日：2024年7月26日

方針	目標達成手段 (取組の自己チェックで挙げた内容を記載する)	昨年度の実績及び今年度の目標	責任部門 責任者	スケジュール											
				6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
① 二酸化炭素排出量削減	車両のアイドリングストップ エアコン利用の削減 ～継続手段～ 空調の設定温度を28℃に設定(夏季) 昼休み時間の事務所内消灯の徹底	2023年度実績 93,426 2024年度目標 前年度比 106% 99,000 (kg-cco2)	SC課 課長 中川	→スタート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				→スタート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				→スタート											
				→スタート											
				売上高の目標に比例して排出量(主に自動車)も増加見込											
② 節水	井戸水の活用基準決め 節水運動(出しっぱなし禁止主に洗濯機) 雨水の活用	2023年度実績 499 2024年度目標 前年度比 162% 809 (㎡)	SC課 課長 中川	実施											
				→スタート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				→スタート											○
				→スタート											
				→スタート											
③ 廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減目標説明 分別回収(最小限の処分、リサイクル) データ管理(紙印刷の削減) 専門業者処分(パソコン等)	2023年度実績 127 2024年度目標 前年度比 100% 127 (t)	SC課 課長 中川	実施											
				→スタート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				→スタート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				→スタート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				→スタート											
分別の徹底により廃棄物(ゴミ)を減らし、リサイクル可能なものを調べてもっと分別に取り組む															
④ 環境配慮	業務改善 アルカリイオン電解水活用(中性洗剤廃止) 社員教育訓練(技術向上) →作業時間の短縮 全員での業務改善提案 (作業・事務・環境何でも気づいた事を 全員で提案する)		SC課 課長 中川	実施											
				→スタート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				→スタート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				アルカリイオン電解水の中性洗剤の代わりに継続的に使用 業務改善を作業現場からも提案しより安全に環境に配慮(時間短縮・ムダ削減)などを全社的に取り組む											

(7)-3環境経営目標及び環境経営計画

活動期間：2023年6月1日～2024年5月31日

作成日：2024年7月26日

2024 年度 環境活動計画書(安城センター)

方針	目標達成手段 (取組の自己チェックで挙げた内容を記載する)	昨年度の実績及び今年度の目標	責任部門	スケジュール											
			責任者	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
① 二酸化炭素排出量削減	車両のアイドリングストップ エアコン利用の削減 ～継続手段～ 空調の設定温度を28℃に設定(夏季) 昼休み時間の事務所内消灯の徹底	2023年度実績 566,586	工事課 課長 上原	→スタート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		→スタート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		→スタート													
		→スタート													
		2024年度目標 前年度比 105% 596,000 (kg-co2)	売上高の目標に比例して排出量(主に自動車)も増加見込												
② 節水	井戸水の活用基準決め 節水運動(出しっぱなし禁止) 雨水の活用	2023年度実績 2,087	工事課 課長 上原	実施											
		→スタート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		→スタート												○	
		→スタート												○	
		2024年度目標 前年度比 120% 2,500 (㎡)	給水タンク雨水利用(設備変更)												
③ 廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減目標説明 分別回収(最小限の処分、リサイクル) データ管理(紙印刷の削減) 専門業者処分(パソコン等)	2023年度実績 8	工事課 課長 上原	実施											
		→スタート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		→スタート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		→スタート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		2024年度目標 前年度比 100% 8 (t)													
④ 環境配慮	業務改善 車両メンテナンス実施⇒排ガス軽減 社員教育訓練(技術向上) ⇒作業時間の短縮 全員での業務改善提案 (作業・事務・環境何でも気づいた事を 全員で提案する) 積替え保管施設の改善 (安全対策・漏洩対策を実施)		工事課 課長 上原	実施											
				→スタート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(8)環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

環境関連法規について

遵守日： 2024年7月26日

適用される環境関連法規制とその遵守状況

評価者： 堀籠

環境関連法令項目	内 容	届出	遵守確認項目	遵守状況
廃棄物処理法 12, 14条	収集運搬基準の遵守。マニフェスト伝票の送付義務		環境省令で定める期間内に送付	適合
	収集運搬業の許可の更新	○	5年更新	適合
	受託した産業廃棄物の再委託の禁止		再委託禁止	適合
愛知県 廃棄物の適正な処理の促進に関する条例第4, 7, 8条及び同施行規則第8条	最終処理施設の視察実施 県外産業廃棄物の県内搬入の届出 県外産業廃棄物の県内搬入状況の報告	○	最終処理施設の確認記録 県外産業廃棄物の県内搬入の届出・報告書	適合
自動車NOX・PM法 4, 6, 12条	自動車排出窒素酸化物の排出抑制の規制遵守		車両整備状況	適合
下水道法 1 2 条	除外施設の設置		油水分離槽の動作確認	適合
浄化槽法 3, 4, 5, 7条	設置届、基準の遵守、定期検査の実施	○	定期検査報告書	適合
消防法 9, 1 0, 1 1, 1 3 条	施設設置の届出、基準の遵守、 危険物取扱者の配置	○	保管量	適合
エネルギーの使用の合理化に関する法律 4条	エネルギー使用の合理化に努める		EA21での活動状況	適合
騒音、悪臭に関する自社手順管理	自社基準による調査		自社管理手順の実施	適合
フロン排出抑制法	フロン類の引き渡しの際、回収依頼書、委託確認書、引取証明書の発行と管理、簡易点検		簡易点検の実施	適合

※ 当社に適用される上記の環境関連法規に関して、過去3年間に於いて違反はなく、また関係当局からの違法等の指摘もありません。

以上

■全体の評価と見直し

(9)代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者による全体の評価と見直し記録

■定期見直し（事業年度終了後）
□臨時見直し

実施日：2024年7月26日

見直しに必要な情報										代表者による見直し																																																																																																																																																										
管理責任者の報告及び改善への提案										変更の必要性の有無・指示事項																																																																																																																																																										
[取り組み状況の評価結果] 取り組みに関しては産廃事業の売上に比例して二酸化炭素(軽油)の増加がある。会社全体で見ると直近3年間でエネルギー・水道・廃棄物の量は安定している。安城センターの水道使用量が前期1,700㎡に対して今期は2,087㎡(122%増)洗車を行うことができるので仕方ないが本社は井戸水の利用をしているので上水の使用量を抑えている。数値に見えないがデジタル化を推進して、事務所内のペーパーレス・RPAの活用により事務作業時間の短縮をしている。 <改善への提案> 取り組み実績を記録をする。※特にエネルギー量に反映しづらいものは時間短縮などの数値を記録しておく [目標・環境活動計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による) <table><thead><tr><th rowspan="2">目標項目</th><th colspan="4">前期(46期-2022年)</th><th colspan="4">今期(47期-2023年)</th></tr><tr><th>目標</th><th>結果</th><th>達成</th><th>活動</th><th>目標</th><th>結果</th><th>達成</th><th>活動</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="9">～全体～</td></tr><tr><td>二酸化炭素の削減</td><td>733,000</td><td>652,914</td><td>達成</td><td></td><td>626,000</td><td>660,012</td><td>未達成</td><td></td></tr><tr><td>節水(上水)</td><td>1,290</td><td>2,225</td><td>未達成</td><td></td><td>2,509</td><td>2,586</td><td>未達成</td><td></td></tr><tr><td>廃棄物の削減</td><td>135</td><td>135</td><td>未達成</td><td></td><td>135</td><td>135</td><td>達成</td><td></td></tr><tr><td>リサイクル率向上</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="9">～本 社～</td></tr><tr><td>二酸化炭素の削減</td><td>92,000</td><td>90,648</td><td>未達成</td><td></td><td>133,000</td><td>93,426</td><td>達成</td><td></td></tr><tr><td>節水(上水)</td><td>809</td><td>525</td><td>達成</td><td></td><td>809</td><td>499</td><td>達成</td><td></td></tr><tr><td>廃棄物の削減</td><td>127</td><td>127</td><td>達成</td><td></td><td>127</td><td>127</td><td>達成</td><td></td></tr><tr><td>リサイクル率向上</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="9">～安城センター～</td></tr><tr><td>二酸化炭素の削減</td><td>641,000</td><td>562,265</td><td>達成</td><td></td><td>493,000</td><td>566,586</td><td>未達成</td><td></td></tr><tr><td>節水(井戸水)</td><td>481</td><td>1,700</td><td>未達成</td><td></td><td>1,700</td><td>2,087</td><td>未達成</td><td></td></tr><tr><td>廃棄物の削減</td><td>8</td><td>8</td><td>達成</td><td></td><td>8</td><td>8</td><td>達成</td><td></td></tr><tr><td>リサイクル率向上</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> [周囲の変化の状況] 物価上昇および人手不足がどの業界でも影響を及ぼしている。特に人件費の上昇は経営に大きな影響を与えている。それに連動して価格転嫁できているところと、全額は出来ていない、全くできていないところとわかれている。その結果に応じて、経営状況が大きく影響を受けている。毎年10月の最低賃金の上昇のタイミングに合わせて弊社でも価格の見直しを実施し、必要なコストはほぼ転嫁できている状況である。同じ業界でも苦しい会社と業績を伸ばす会社に明暗が分かれつつある。しっかりと状況を見極めて経営のかじを切る必要がある。										目標項目	前期(46期-2022年)				今期(47期-2023年)				目標	結果	達成	活動	目標	結果	達成	活動	～全体～									二酸化炭素の削減	733,000	652,914	達成		626,000	660,012	未達成		節水(上水)	1,290	2,225	未達成		2,509	2,586	未達成		廃棄物の削減	135	135	未達成		135	135	達成		リサイクル率向上									～本 社～									二酸化炭素の削減	92,000	90,648	未達成		133,000	93,426	達成		節水(上水)	809	525	達成		809	499	達成		廃棄物の削減	127	127	達成		127	127	達成		リサイクル率向上									～安城センター～									二酸化炭素の削減	641,000	562,265	達成		493,000	566,586	未達成		節水(井戸水)	481	1,700	未達成		1,700	2,087	未達成		廃棄物の削減	8	8	達成		8	8	達成		リサイクル率向上									前年度問題点の是正及び指示事項		
目標項目	前期(46期-2022年)				今期(47期-2023年)																																																																																																																																																															
	目標	結果	達成	活動	目標	結果	達成	活動																																																																																																																																																												
～全体～																																																																																																																																																																				
二酸化炭素の削減	733,000	652,914	達成		626,000	660,012	未達成																																																																																																																																																													
節水(上水)	1,290	2,225	未達成		2,509	2,586	未達成																																																																																																																																																													
廃棄物の削減	135	135	未達成		135	135	達成																																																																																																																																																													
リサイクル率向上																																																																																																																																																																				
～本 社～																																																																																																																																																																				
二酸化炭素の削減	92,000	90,648	未達成		133,000	93,426	達成																																																																																																																																																													
節水(上水)	809	525	達成		809	499	達成																																																																																																																																																													
廃棄物の削減	127	127	達成		127	127	達成																																																																																																																																																													
リサイクル率向上																																																																																																																																																																				
～安城センター～																																																																																																																																																																				
二酸化炭素の削減	641,000	562,265	達成		493,000	566,586	未達成																																																																																																																																																													
節水(井戸水)	481	1,700	未達成		1,700	2,087	未達成																																																																																																																																																													
廃棄物の削減	8	8	達成		8	8	達成																																																																																																																																																													
リサイクル率向上																																																																																																																																																																				
										< 達成状況 / 今後の対応 >																																																																																																																																																										
										□ 達成 ・ ■ 未達成 / □ 完了 ・ □ 継続																																																																																																																																																										
										数値は未達となったが、売上上昇にともなう車両稼働時間の増加によるものとする。																																																																																																																																																										
										[今年度総括]																																																																																																																																																										
										昨年の結果と売上上昇率を比較すると、未達とはいえ努力をした結果が見られたとも言える。トラックの排出は車両台数と稼働時間によって上昇は避けられないが、無駄な排出はしていないと言えるレベルである。社内でもより一層の取り組みをする為に自分たちに何が出来るのかを話し合いを持ちたいと思う。																																																																																																																																																										
										見直しの必要性判断と指示事項																																																																																																																																																										
										対象	変更の有無		評価																																																																																																																																																							
										環境方針	□ 有	■ 無	不変の方針である。																																																																																																																																																							
											目標・活動計画	■ 有	□ 無	売上見込みに対して、数値設定する。																																																																																																																																																						
										実施体制		□ 有	■ 無	変更の必要はない。																																																																																																																																																						
											その他	□ 有	■ 無	特になし。																																																																																																																																																						

代表者が自ら得た情報									
コロナ禍までなかった、大きな物価上昇の波で多くの企業が影響を受けている。そこに後継者問題も加わり、業界の再編が進んでいる。お陰様で、仕事は受注できないほどの量のオファーを頂いているが、組織の力以上の受注をして過去に失敗をしているのでその見極めを注意する。その中でも、環境負荷をかけない経営を実践し持続的に成長できる企業へと導いていく。									